

課題名	14. 昆虫成育制御剤（IGR）によるヤノネカイガラムシの効率的防除法																																																																													
成果の要約	<p>カンキツの重要害虫であるヤノネカイガラムシの防除にはスプラサイド乳剤をはじめ有機リン剤が使用されているが、有益昆虫の併殺などによりミカンハダニの多発を招いている。このため環境に影響の少ないIGR剤（昆虫成育制御剤）による効率的防除法を検討した。</p> <p>（1）IGR剤であるインセガー水和剤やアプロード水和剤は2齢幼虫初期までしか殺虫効果はないが、1齢幼虫に対して約30日の残効がある。このため散布適期は従来の有機リン剤の2齢幼虫発生最盛期と異なり、1齢幼虫の発生最盛期で、第1世代は5月下旬～6月上旬、第2世代は8月上～中旬となる。</p>																																																																													
成績概要	<p>表1 カンキツのヤノネカイガラムシに対するIGR剤の防除効果</p> <table border="1" data-bbox="233 902 1633 1436"> <thead> <tr> <th>供試薬剤名</th> <th>使用濃度</th> <th>処理前 密度 (/枝)</th> <th>処理後 密度 (/枝)</th> <th>生育率 (%)</th> <th>補正殺虫率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インセガー水和剤</td> <td>3,000倍</td> <td>130</td> <td>3</td> <td>2.3</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>インセガー水和剤</td> <td>4,000</td> <td>276</td> <td>4</td> <td>1.4</td> <td>97.6</td> </tr> <tr> <td>アプロード水和剤</td> <td>1,000</td> <td>255</td> <td>9</td> <td>4.0</td> <td>93.3</td> </tr> <tr> <td>無処理</td> <td>—</td> <td>137</td> <td>82</td> <td>59.7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2 IGR剤のヤノネカイガラムシ歩行幼虫に対する残効性</p> <table border="1" data-bbox="233 1584 1633 2178"> <thead> <tr> <th rowspan="2">供試薬剤名</th> <th rowspan="2">使用濃度</th> <th colspan="5">補正殺虫剤 (%)</th> </tr> <tr> <th>41日前</th> <th>32日前</th> <th>20日前</th> <th>11日前</th> <th>直前</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インセガー水和剤</td> <td>2,000倍</td> <td>2.9</td> <td>86.9</td> <td>79.4</td> <td>75.4</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>インセガー水和剤</td> <td>4,000</td> <td>12.0</td> <td>0</td> <td>75.4</td> <td>91.3</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>インセガー乳剤</td> <td>2,000</td> <td>5.2</td> <td>7.6</td> <td>68.4</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>アプロード水和剤</td> <td>1,000</td> <td>27.6</td> <td>89.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>無処理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	供試薬剤名	使用濃度	処理前 密度 (/枝)	処理後 密度 (/枝)	生育率 (%)	補正殺虫率 (%)	インセガー水和剤	3,000倍	130	3	2.3	96.4	インセガー水和剤	4,000	276	4	1.4	97.6	アプロード水和剤	1,000	255	9	4.0	93.3	無処理	—	137	82	59.7	—	供試薬剤名	使用濃度	補正殺虫剤 (%)					41日前	32日前	20日前	11日前	直前	インセガー水和剤	2,000倍	2.9	86.9	79.4	75.4	100.0	インセガー水和剤	4,000	12.0	0	75.4	91.3	100.0	インセガー乳剤	2,000	5.2	7.6	68.4	100.0	100.0	アプロード水和剤	1,000	27.6	89.0	100.0	100.0	100.0	無処理	—	—	—	—	—	0
供試薬剤名	使用濃度	処理前 密度 (/枝)	処理後 密度 (/枝)	生育率 (%)	補正殺虫率 (%)																																																																									
インセガー水和剤	3,000倍	130	3	2.3	96.4																																																																									
インセガー水和剤	4,000	276	4	1.4	97.6																																																																									
アプロード水和剤	1,000	255	9	4.0	93.3																																																																									
無処理	—	137	82	59.7	—																																																																									
供試薬剤名	使用濃度	補正殺虫剤 (%)																																																																												
		41日前	32日前	20日前	11日前	直前																																																																								
インセガー水和剤	2,000倍	2.9	86.9	79.4	75.4	100.0																																																																								
インセガー水和剤	4,000	12.0	0	75.4	91.3	100.0																																																																								
インセガー乳剤	2,000	5.2	7.6	68.4	100.0	100.0																																																																								
アプロード水和剤	1,000	27.6	89.0	100.0	100.0	100.0																																																																								
無処理	—	—	—	—	—	0																																																																								

成	
績	
概	
要	<p style="text-align: right;">(果樹試験場)</p>
普及上の留意点	<p>(1) 第1、2世代の1齢幼虫の発生最盛期は年により、地域により異なるので、発生予察情報によって、適期をはずさないようにする。</p>